

川崎市議会議員(麻生区選出、無所属)

月本たくや

レポート【第 36 号】

月本たくやレポート編集部

〒215-0024 川崎市麻生区白鳥 2-3-2 K コーポ白鳥 103

TEL : 044-986-6010 FAX : 044-330-1563 Email : mail@tsukimoto.info



木と育むまち・かわさきを目指して

～環境・文化・スポーツなど、木に囲まれ、木を理解するまちへ～

✓なぜ木材利用か？

「木には温かみがある」とよく言われますが、その効果はどのようなものがあるのでしょうか？

近年、校舎の木質化や木を使った遊びなど、木材利用を促進する動きがあります。その背景には、我が国の森林のうち4割を超える人工林の管理の問題が叫ばれています。伐採時期を迎えているのに、経済的事情で伐採できないために森林が荒れていくという事情があります。森林が荒れれば、水資源にも大きな影響を与え、水不足だけでなく、豪雨時には大災害につながるリスクも高まります。

そこで、政府は国産木材の利用を促進し、川崎市では平成27年に木材利用促進フォーラムが設置されました。

✓木材利用の付加価値

木材利用には、伐採、製材、加工により製品化するという流れがあり、伐採を単独で実施するのではなく、製材や加工等の一体事業により、付加価値が付きやすくなります。

昨年7月に北海道北見市方面を視察しましたが、森林を守り付加価値をつけていくこと、そして木材を活用した新たな商品の開発を進めているという背景が林業の活力につながっていました。

訪問した旭川市にある林産試験場では火に弱いという木の弱点を克服する研究を行っていたり、置戸町では木の食器づくりを進めていて、地元の小学校の給食でも実際にクラフト食器を使っていたりと、木という昔からある素材を人々により身近に届けられるような取り組みが進められています。

木は、加工することで、住宅にも、橋にも、家具にも、おもちゃにも、食器にもたくさんのものになります。そして、木くずはバイオマス発電のチップに生まれ変わりますし、その火を使って食事も作れます。

そんな木のポテンシャルを活かし、付加価値をつけることで、事業採算がとれる可能性が高まってきます。



北見市の伐採現場を視察



置戸町のクラフト人材育成の現場を視



木のすべり台とボールプール（遠軽町）

✓木材がいいという根拠の明示が必要

なぜ、木がいいのでしょうか？

例えば、木質化教室は年間の室温差が少ないとか、インフルエンザになりにくいとされている統計データを始め、集中力の向上やリラックス効果などをまとめている機関がありますが、公的に示されている根拠ではありません。

「木材利用促進」の背景には森林保全の問題があるものの、木材利用により利用者側にとってのメリットがなければ、木材を敢えて使うということにつながりません。

「何となくいい」ということの積み重ねだけでなく、様々な視点での効果検証をすべきで、様々な分野でのプロ集団がいるのが、川崎市木材利用促進フォーラムですので、ここから国に発信できる根拠を示すべきと、昨年9月の決算議会で提案しました。

✓「木育」という言葉の魔術

「木育」という言葉は文部科学省の学習指導要領にありません。教育用語ではなく「木と育む」という意味ですが、「食育」という言葉同様、「〇育」と聞けば、何でもいように扱われがちです。

しかし、「木を使えば、木と育むから木育」と使うと、さも教育用語と混同されそうになります。気をつけなければいけないのは、「何となくではなく根拠を示すこと」が大切ということです。

そこで、木は森林や水源などの環境と大きく関わっていること、木の加工によっていろいろなものづくりが進められていること、木の利用による効果がどのように出ているかについて等、取りまとめていくべきと提案しています。

教育に流行り廃りがあって、ブームの波がいつもあります。

今も、「食育」と聞けば、何でもいように扱われがちですが、ちゃんと中身を見て行かないといけません。言葉の魔術が先行しないように、「木育」という言葉をしっかり定義づけすべきです。

スウェーデンのまき投げスポーツ「KUBB(クubb)」

クubbはスウェーデン発祥の薪投げゲームです。クubbとはスウェーデン語で「薪(まき、たきぎ)」を意味しています。これはクubb競技発祥の地であるスウェーデン沖にあるゴットランド島で、どの家の軒下にも薪のあった時代にこの薪を用いた遊びが生み出されてきたことに由来します。子どもから高齢者までハンディをつけずに楽しむことのできるニュースポーツです。

クubbは小学校高学年以上であれば年齢、性別、体力などに関係なくどなたでも楽しめます。また、一投一投で戦局が変わり、一喜一憂したり、ナイスショットでは思わずハイタッチをしてしまうなど、チーム全員で喜びを分かち合える他に類を見ないチームゲームです。



- 的当てと陣取り合戦の融合！
- 思わず手を合わせてしまうハイタッチゲーム！
- 戦略を考える楽しさ！
- 子どもから高齢者まで同じレベルで楽しめる！
- 木と木が奏でる音の爽快感

毎月第1・第3土曜日午前9時～11時
白鳥公園(白鳥2-10)にて体験会実施中！

月本たくやプロフィール

昭和53年 大阪府豊中市生まれ。神奈川大学法学部法律学科卒業後、建築設備メーカーに就職。

川崎市長政務秘書、衆議院議員公設秘書(麻生区・国会担当)等を経て、平成23年川崎市議会議員初当選。交渉会派団長、議会運営委員会委員、川崎市農業委員(議会推薦)等を経て、平成25年5月より無所属。平成27年川崎市議会議員当選。

現在 川崎市議会議員(麻生区選出、当選2回) まちづくり委員会委員 神奈川県クubb協会代表理事

NPO 法人防犯ネットワーク理事・麻生区支部長 川崎白百合ライオンズクラブ会長

川崎市麻生区男子ソフトボール連盟副会長 麻生区白鳥在住 五力田町内会員 家族：妻(会社員) 血液型：A型

趣味：KUBB(スウェーデン発祥のスポーツ、神奈川県クubb協会代表理事、日本クubb協会認定普及指導員)

月本たくや事務所

麻生区白鳥2-3-2 Kコーポ白鳥103

TEL 044(986)6010 FAX 044(330)1563

月本たくや

検索

